

個人山行報告書

書名 会員会報 第101号 第1巻

通算山行NO	No. 1291	報告者	後藤隆徳
年月日	2007年09月23日(日・曇り)	2万5千	八ヶ岳西部
山名	八ヶ岳・阿弥陀岳(2805m)中央稜		
体力度=上り4・ややきつい 技術度=3・普通 藪漕度=ない 道標=ない・赤テープ随所 展望度=素晴らしい(赤岳チラリ) 難易度=難しい 三角点=阿弥陀岳なし、御小屋山あり			
<b>10年ぶりの中央稜</b>			
コース とタイム	下土狩 5:00—精進湖—小淵沢 IC—舟山十字路発 7:20—立場川左俣—御小屋尾根分岐 10:35—阿弥陀岳頂上 10:40—御小屋尾根途中 11:35~12:00(昼食)—不動清水入口 12:25—舟山十字路着 13:45 温泉~15:20—河口湖—下土狩 19:10		
標高差	上り=駐車場1620m—阿弥陀岳2805m=約1185m 下り= 同上		
参加者	CL・後藤隆徳、近森正彦、中村圭吾、ほか1名		

久しぶりに阿弥陀岳中央稜を上りたいと思った。ここは10年ぶりだった。あの時は4名で、KT・KS・Tが一緒だった。しかし、その3名は現在も山に上っているが、すでに会に在籍していない。「組織は生き物である」とよく言われるが、今回の仲間もいつかなくなるのであろうか、...

懐かしい十字路を出発。連休なので駐車両は多かった。立場川左俣を詰めると、中央稜取り付きで2万5千円の標高1894mに着く。ここはドンピシャリ地図通りだ。

ここからの凄急登が始まる。赤テープは適当にあるから問題



花猪口(ハナイグチ)

はない。Tちゃんが「こんな上りは初めてだ」とぼやくことしきり。それでも休むことなくグングン上れば、ひょいっと御小屋尾根分岐に飛び出る。小さな岩場を越えて頂上。可愛い阿弥陀様がある。霧がパーと晴れ、眼前に赤岳が広がった。

時間が早いので下る。御小屋尾根上部はガラガラで悪い。途中で昼食。雨が少し降る。

この下でオジサンが花猪口(ジゴボウ)を沢山持っていたので、我々も探したが見つからなかった。



出会った植物

深山小米草(ミヤマコゴメグサ)、深山曙草(ミヤマアケボノソウ)、山芋環(ヤマオダマキ) 白玉の木の実、松虫草(マツムシソウ)、鳥兜(トリカブト)、蛍袋(ホタルブクロ)、ワレモコウ、富士薊(フジアザミ)、梅鉢草(ウメバチソウ)、岩鏡(イワカガミ)